

1. 指定管理者(施設)の基本情報

施設名	箕面市立萱野中央人権文化センター
指定管理者	特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝
指定期間	平成27年度～平成36年度
施設概要	萱野中央人権文化センター、萱野青少年体育館・グラウンド
市支出額	年110,063,000円

2. 事業の実施状況

(1) センター利用に関すること

住民の平等利用の確保	3ヶ月前の事前予約・抽選制
利用者の増加、サービスの向上	らいとびあニュース発行(隔月・3500部)
利用者等の安全対策に関する業務	消防避難訓練(年度末までに2回実施予定)
職員研修	外部の講座・研修会・視察研修・講師派遣等

(2) 施設・附属設備の維持管理に関すること

附属設備の保守点検に関する業務	総合管理委託(イーチ合同会社)
備品に関する業務	備品台帳に基づく管理
修繕に関する業務	委託業者の報告・利用者の苦情等により、予算の範囲内で随時修繕
日常清掃及び定期清掃に関する業務	総合管理委託(イーチ合同会社)
環境保全に関する業務	電灯の一部LED化とデマンド方式の導入

(3) 事業実施に関すること

地域コミュニティ課事業	別紙「事業報告」のとおり
地域教育課事業	同上
相談事業	同上

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	別紙
------------	----

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	別紙
------------	----

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	別紙
-----------	----

4. 収支状況

別紙「収支計算書」のとおり

5. 特別提案の状況

月曜日の開館	2017年度は9月まで月に2回のペースで実施している。10月以降、すべての月曜日を閉館するが、館の保守作業の必要性から、第3月曜日を休館とする。
会議室及び講座室の分割	2015年度7月利用分より分割できる形で貸館を開始している。
展示コーナーにおける喫茶コーナーの設置	2017年8月現在、毎週木曜日と土曜日に喫茶コーナーを稼働し、来館者に一息つける場所を提供している。また、展示コーナー活用事業の際にも同様に稼働中。

6. 指定管理者の自己評価

貸館業務について、今年度から月に2回の実施をしており、10月以後は第3月曜日以外を開館する予定である。少しずつ月曜日の利用団体は増えているが、引き続き、周知をしていきたい。利用者アンケートの結果からは利用者に「おおむね満足」以上の評価を得られたと考えているが、備品の更新や清掃に関する要望を頂戴している。利用者の要望と予算との兼ね合いとなるが、これらの意見を参考に、貸館業務の改善を図っていく。

自主事業については、昨年度有料であった講座を無料にした。1階の展示コーナーで実施するすべての事業について、ふらっと気軽に参加できる講座としている。すべての講座の実施時にはアンケートをとっており、取り上げてほしいテーマ等の要望をもらい、それを参考に次の実施を検討している。アンケートにある要望については吟味し、今後も適切な対応を実施する。

相談事業においては、隣保館の総合生活相談と生活困窮者自立支援法の相談の窓口となっており、多様な相談ケースに対応している。相談を受けたときは、箕面市生活援護室や箕面市社会福祉協議会をはじめ、さまざまな機関と連携し、相談ケースに対応している。また、「就職支援講座」や「1日ハローワーク」では箕面営業室と連携しており、「年金なんでも相談会」では介護・医療・年金室と連携している。これらの事業を実施するにあたって地域住民への家庭訪問など丁寧なよびかけを行っている。それだけでなく、市内の事業所から就労に向けたステップアップとなる複数の作業を継続的に提供してもらったり、らいとぴあ事業のワークシェアなどを行うことで、相談者の実情にあわせた事業内容を実施できている。

スタッフに関しては、OJTや研修を通じてのスキルアップに努めているが、今後はさらに、地域の方々との「顔の見える関係づくり」に重点を置いてスタッフの誰にでも気軽に相談できるようにしていきたい。